

開催日程 10月8日(土)・9日(日)

	事項	時間	オンライン配信
8 日 (土)	新旧理事会	10:30~12:00	ZOOM
	シンポジウム	13:00~15:45	ZOOM
	総会	16:00~17:00	ZOOM
	懇親会	17:15~18:00	ZOOM
発表 日 (日)	第1・2・3会場 配信時間：午前の部	第1・2・3会場 配信時間：午後の部	
	1 9:30~10:00 2 10:05~10:35 3 10:40~11:10 4 11:15~11:45 5 11:50~12:20	6 13:20~13:50 7 13:55~14:25 8 14:30~15:00 9 15:05~15:35	

休憩 12:20~13:20

*発表題目、発表者は内面に記載。

第42回全国大会シンポジウム

「Z世代が築く消費者市民社会

～消費者教育推進法10年の節目に考える～

基調講演：「若者からはじまる民主主義」

両角 達平氏（日本福祉大学 講師）

パネルディスカッション：「Z世代からの発信

～これからの消費者教育に期待すること～

参加申込み【9月9日(金) 締切】

【方法】大会HPの「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

参加費の払込み【9月9日(金) 締切】

【方法】下記金額をゆうちょ銀行へお振込み下さい。

◆ゆうちょ銀行からの振込み

記号：00170 -5 番号：665066

名義：日本消費者教育学会関東支部

◆他の金融機関からの振込み

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一九（ゼロイチキョウ）

口座種目：当座 口座番号：0665066

名義：ニホンショウヒシヤキョウイクガツカイカントウシブ

正会員・非会員 5,000円（要旨集代込み）

学生 1,000円

日本消費者教育学会

第42回

全国大会プログラム

<オンライン開催>



開催期日 2022年10月8日(土)～9日(日)

オンライン配信会場

東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22

日本消費者教育学会第42回全国大会HP

<http://jace-kantou.org/2022taikai/>



後援

生活科学系コンソーシアム
公益財団法人横浜市消費者協会

開催のご挨拶

日本消費者教育学会会長 東 珠実

(梶山女学園大学 教授)

日本消費者教育学会第42回全国大会は、長引く新型コロナウイルス感染拡大防止への対応のなかで、一昨年、昨年に引き続き、オンラインで開催されることになりました。

本大会のシンポジウムのテーマは、「Z世代が築く消費者市民社会～消費者教育推進法10年の節目に考える～」です。現在、消費者教育の推進・発展の拠り所となっている消費者教育推進法の成立については、本学会の西村隆男前会長はじめ、関東支部の先生方が大いにご尽力くださいました。あれから10年の節目に、関東支部で全国大会が開催されることを感慨深く受け止めていらっしゃる方も多いことと思います。また、消費者教育の新しいステージに向け、Z世代が創り上げる消費社会のありようも大変興味深く、今大会への期待が膨らみます。

大会開催にご尽力をいただきました松葉口玲子大会実行委員長をはじめ、関東支部の皆様にご心より感謝申し上げます。

歓迎のことは

第42回全国大会実行委員長 松葉口 玲子

(横浜国立大学 教授)

コロナ禍での全国大会開催も3回目となり、対面とオンラインのどちらで開催するか最後まで迷いましたが、関東エリアは最も感染者数が多いことや会場の確保が困難であること等の理由から、今回もオンライン開催となりました。しかし少しでも学会員間の交流をはかれるよう、従来の懇親会に替わる企画を1日目の最後に設定しております。シンポジウムでは、消費者教育推進法の成立から10年という節目の年を記念して、「Z世代が築く消費者市民社会」をテーマに、豪華メンバーにご登壇いただきます。

2日間の大会を通して活発な議論が展開されることを期待しますと同時に、皆さまにとりまして有意義な時間になるよう関東支部一同、願っております。多くのご参加を心よりお待ちしております。

第1会場

午前の部 9:30~12:20

1. フェアトレード大学の地域における役割—コロナ禍の国際理解教育を通じて— ○橋長真紀子（札幌学院大学）
2. 大学生を対象とした循環型ピアラーニングシステムによる消費者教育担い手育成の試みとその評価 ○岡崎裕（和歌山大学）
3. 大学生に対する消費者法教育の方法と効果—各科目・各学年に応じた消費者法教育の実践を通して— ○池内博一（追手門学院大学）
4. 地方自治体における消費者行政と教育委員会の連携・協働に関する研究—尺度の開発を中心として— ○柿野成美（法政大学大学院・公益財団法人消費者教育支援センター）
5. コロナ禍における産官学連携の消費者市民教育—対面とオンラインの比較— ○雪美保子（同志社大学）・木谷あゆみ（株式会社山田製油）・荒木武文（文部科学省消費者教育アドバイザー）

午後の部 13:20~15:35

6. 教育的観点に基づく医療消費者の自己管理能力—医療機関からの促し— ○田村久美（川崎医療福祉大学）
7. 消費生活コンサルタントのライフストーリー ○神山久美（山梨大学）
8. 改めて消費生活センターによる学校に対する消費者教育の推進方法を考える ○色川卓男（静岡大学）
9. 質問作り(QFT)の手法を用いた消費者教育の教員研修プログラムの開発 ○長谷川元洋（金城学院大学）・上野顕子（金城学院大学）・新谷洋介（金沢星稜大学）

第2会場

午前の部 9:30~12:20

1. 特別な配慮を要する子どもに対する韓国の消費者教育からの示唆—韓国高等学校特殊学級担当及び特殊学校高等部教員への聞き取り調査より— ○上野顕子（金城学院大学）・新谷洋介（金沢星稜大学）・長谷川元洋（金城学院大学）
2. コード決済疑似体験教材の開発と活用の可能性 ○新谷洋介（金沢星稜大学）・上野顕子（金城学院大学）・長谷川元洋（金城学院大学）
3. 生徒の「生きる力」を見える化する教材—特別支援学校での消費者教育の取り組み— ○木戸明美（京都府消費生活安全センター）・安岡知美（高知大学教育学部附属特別支援学校）
4. 割賦取引に関する教育への取り組み—金融事故防止の観点から— ○上村明（和歌山大学大学院・院生）
5. 多重債務者の家計管理支援におけるユニバーサルデザインに関する一考察—対応困難者の存在— ○徳村美佳（消費者教育 NPO 法人お金の学校くまもと）・川口恵子（元尚絅大学短期大学部）

午後の部 13:20~15:00

6. 多文化共生とSDGsを関連させた「食」を軸にした授業プログラムの開発 ○西江なお子（奈良学園大学）・大本久美子（大阪教育大学）・南千里（大阪教育大学附属平野小学校）
7. 幼い子どもと保護者を対象とした消費者教育教材の開発 ○加賀恵子（弘前大学）
8. 小学校における金融教育 ○小井戸あや乃（兵庫教育大学連合大学院・院生）・大藪千穂（岐阜大学）

第3会場

午前の部 9:30~12:20

1. 消費者教育における概念型探究学習の可能性—中学校技術・家庭（家庭分野）の衣生活の学習を通して— ○竹下浩子（愛媛大学）・大本久美子（大阪教育大学）・大野真貴（大阪教育大学附属池田中学校）
2. 食育の実践とその持続性の検討—男子中学生の食品摂取量および生体指標から— ○森山三千江（愛知学泉大学）・上島寛之（愛知学泉大学）
3. 消費者市民の視点を育むフェアトレードに関する調理実習プログラムの検討 ○石島恵美子（茨城大学）・松葉口玲子（横浜国立大学）
4. 高校家庭科における投資教育の意味 ○堀江雅子（兵庫教育大学連合大学院・院生）・大藪千穂（岐阜大学）
5. キャッシュレス決済の普及に伴う高校生を対象とした消費者教育に関する研究 ○小野由美子（東京家政学院大学）・柿野成美（法政大学大学院）・川崎孝明（筑紫女学園大学）・上杉めぐみ（愛知大学）

午後の部 13:20~15:35

6. 高等学校「家庭」と「公共」との金融教育クロスカリキュラムからエンカール消費への展開 ○齋藤美重子（川村学園女子大学）・齋藤和可子（中央大学附属中学校・高等学校）
7. 18歳成人に求められる消費者教育のあり方について—2021年度「高校生の消費生活と生活設計に関する調査」結果から— ○庄司佳子・小林知子・奥西麻衣子・河原佑香（公益財団法人消費者教育支援センター）・柿野成美（法政大学大学院）
8. 不当表示広告調査を用いた社会参加意識を促す授業開発 ○池垣陽子（埼玉県立蓮田松韻高等学校）
9. 近畿地区の高等学校における消費者教育の現状と「連携」の課題—混合研究法を用いた検討— ○吉井美奈子（武庫川女子大学）・井出奈緒（公益財団法人関西消費者協会）・小牧美江（大阪司法書士会）・鈴木真由子（大阪教育大学）・野口美樹（関西支部会員）・松原由加（公益財団法人関西消費者協会）